

## 社会貢献活動の基本的な考え方

当社およびグループ各社は、金融グループとしての高い公共性を認識し、本業での活動を通じて社会の発展へ貢献することが重要と考えます。一方で、日常業務を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための『良き企業市民』としての活動も欠かせません。当社およびグループ各社は、『良き企業市民』として社会的責任を果たすべくさまざまな社会貢献活動も行います。

## 社会貢献活動方針

当社およびグループ各社は、『良き企業市民』としての役割を認識し、豊かで持続可能な社会の実現を目指し社会貢献活動を行います。この社会貢献活動を積極的に行うため、企業で活動を企画・実施するとともに、社員のボランティア活動を支援します。

## 社会貢献活動の柱

当社およびグループ各社は、以下の4つの分野を社会貢献活動の柱としています。

**福祉活動、地域・国際社会、環境活動、文化・芸術・教育**

### 福祉活動

#### ●書き損じはがきほか、収集ボランティアの実施

当社では、グループ各社の社員から「書き損じはがき」を募集し、ボランティア団体に寄贈しています。また、三井住友銀行では「未使用テレホンカード」、三井住友カード・三井住友ファイナンス&リース・セディナでは「ペットボトルのキャップ」、三井住友カード・SMBCフレンド証券では「使用済み切手」を社内で収集し、寄贈しています。また、三井住友銀行・SMBCフレンド証券では、株主優待品の寄贈も行っています。

#### ●手話講習会の開催

三井住友銀行では、耳の不自由な方への理解を深めることとお客さまサービスの向上を目的とし、毎年手話講習会を開催しています。また、平成22年度は、耳の不自由な方の日常生活での感じ方等に関する講演会を、手話通訳士による通訳のもとで開催しました。

#### ●ボランティア体験講座、団体献血の開催

三井住友銀行では、社員のボランティア活動へのきっかけづくりとしてボランティア体験講座を開催しており、平成22年度は世界の貧困、多様性、環境等の諸問題を疑似体験を通じて学ぶ講座を、東京・名古屋・大阪で開催しました。



SMBCフレンド証券では、障がいのある方、高齢の方の立場に立ちお客さまサービスの向上を目指す「車いす体験セミナー」や、「シニア体験セミナー」を開催しました。

また、三井住友銀行、三井住友カード、SMBC日興証券では、職場での団体献血を実施しています。

#### ●福祉団体等販売会の開催

三井住友銀行では、本店ビルにて、障がい者就労施設等の製品販売会を行っています。

### 地域・国際社会

#### ●ボランティア基金

三井住友銀行では、有志社員の給与から毎月一律100円を天引きして、複数ボランティア団体等への寄付を行っており、約1万1千名が加入しています(平成23年6月現在)。以下は、平成22年度に行った寄付事業計23件の一部です。

#### <海外>

- \*ブルキナファソの小学校における学校給食の提供
- \*ラオスでの学校図書室の開設
- \*アフガニスタンにおける紙芝居を通じた初等教育支援
- \*インドネシアでの奨学金供与と乳幼児対象の保健プログラム
- \*スーダンにおける小学校の水の衛生改善事業
- \*中国貧困地区小学校における施設の整備や拡充
- \*フィリピンにおける農業を通じた母子保健と識字教育支援
- \*ミャンマーにおける女性自立グループ育成プロジェクト
- \*バングラデシュ農村部における最貧困女性および高齢者を対象とした生活向上支援活動

## <国内>

- \* 終末期にある小児難病児とそのご家族の思い出づくりの旅行
- \* ろう者による人形劇ワークショップ開催支援
- \* 盲導犬「わかば」の育成事業

グループ会社のさくらケーシーエスでも社員の約8割に当たる891名がボランティア基金に加入し(平成23年2月現在)、福祉や環境活動への寄付活動を行っています。



### ●中古本等リサイクルを通じた発展途上国の教育支援

三井住友カードは、社員から不要な中古本等を集め、収集実績に応じ発展途上国の図書館開設等に充てられる寄付を行いました。カード会員に対しても取り組みの紹介や呼びかけを行いました。

### ●ボランティアスタッフYUI(ゆい)の活動

三井住友銀行では、社員自らが企画立案を行う社内ボランティア組織「YUI」の支援を行っています。ろう学校での交流会や海岸清掃への継続的な参加、高齢者の方に歌を披露していただく晴れの舞台を演出するイベントの開催、手づくり手芸品のチャリティー販売などを継続的に開催しています。

### ●全国拠点における地域貢献活動

三井住友銀行では、全国の営業拠点が自ら企画し地域社会に貢献する活動を推進しており、銀行見学会、支店周辺や野外での清掃活動、地域の祭りやイベントへの参加、世界の子どものたちの絵画ロビー展、ロビーコンサートなどを行っています。SMBC日興証券でも、地域が抱える問題の解決、地域社会の発展を目指して、営業拠点での清掃活動やボランティア活動に積極的に参加しています。

### ●海外拠点における取り組み

海外拠点において以下の取り組みを行っています。

- ・三井住友銀行(中国)有限公司における、浙江大学や上海外国語大学、中山大学などでの奨学金制度
- ・三井住友銀行香港支店における、アジアの若手音楽家によるオーケストラへの寄付
- ・三井住友銀行ソウル支店における、「全国学生日本語演劇大会」への寄付を通じた、韓国の学生が日本語を習得し日本文化への理解を深める場の提供
- ・三井住友銀行ラブアン支店におけるオフィス移転に伴う、障がいをお持ちの方の職業訓練所への机・椅子・キャビネの寄贈
- ・三井住友銀行ハノイ支店における、インターナショナルスクールの学生への就労体験機会の提供
- ・三井住友銀行バンコック支店における、タイ東北部農村への地下水貯蔵タンクの寄贈、野菜の苗植え・刈取りの手伝いの実施
- ・欧州三井住友銀行における、ボランティア休暇を利用した社員の活動、行内寄付基金によるチャリティー団体への寄付、また、同基金よりマッチングギフト制度(従業員の寄付に対して銀行が一定額を拠出する制度)を利用したチャリティー団体への寄付
- ・日本総合研究所 欧州拠点における日本語スピーチコンテストへの寄付



### ●外国コイン募金活動への取り組み

三井住友銀行は、ユニセフ外国コイン募金実行委員会のメンバー企業として、同募金活動の運営に協力しています。同行の国内本支店・出張所の店頭で募金箱を設置し、集まった募金は各国通貨別に仕分けし、ユニセフに送っています。

### ●商品・サービスを通じた寄付支援

三井住友銀行では、普通預金の税引後利息を寄付する「ユニセフ愛の口座」を取り扱っており、同行でもお客さまと同額の寄付をしています。

三井住友カードは、ワールドプレゼントの景品として、VJAグループ各社カード会員からの寄付を「ユニセフ」「ユネスコ」「WWFジャパン」「WFP」に寄付し、あわせて同社が

らもユニセフへの寄付を実施しました。また、「ユニセフ VISAカード」など社会貢献型カードを発行し、利用額の一部を寄付・還元しています。

セディナでは、“子どもたちの夢を形にする”をコンセプトとする「アトムカード」等の社会貢献型カードを発行し、児童養護施設等に寄付しました。またポイント交換を通じた寄付やインターネット募金の受付も行っています。

### ● TABLE FOR TWO への参加

三井住友銀行は、社員食堂でヘルシーメニュー 1 食を購入すると開発途上国の学校給食 1 食分が NPO 法人「TABLE FORTWO」に寄付される取り組みを、本店で実施しています。また、同行、SMBC フレンド証券では、健康飲料を購入すると同団体に寄付される仕組みの自動販売機も設置しています。

### ● 財団を通じた取り組み

米国を本拠とする SMBC GLOBAL FOUNDATION は、平成 6 年よりアジア各国で学ぶ大学生 5,000 名超に奨学金を支給しています。またニューヨーク市ハーレムの高校が主催する日本研修旅行の支援、学校の美化活動への三井住友銀行・日本総合研究所社員によるボランティア参加、同社員が行う寄付への財団からの同額寄付等を実施しています。



三井住友銀行国際協力財団は、開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、平成 2 年の設立当初より毎年 7～8 名のアジアからの留学生に奨学金を支給しています。また、発展途上国に関する研究機関・研究者への助成を行っています。

## 環境活動

### ● 環境保全活動への参加

当社では「SMFG クリーンアップデー」を定め、平成 22 年度はグループ各社の有志社員約 120 名が神奈川、兵庫の 2 会場で海岸清掃に参加しました。

SMBC フレンド証券では、千葉・兵庫の 2 会場で独自に海岸清掃活動を開催し、101 名が参加したほか、セディナ、三井住友ファイナンス&リース、日本総合研究所でも事業所周辺などで継続的な清掃活動等を行っています。

SMBC 日興証券では、平成 22 年秋に社内の環境保全・社会貢献活動強化期間として「Green Week」を設け、清掃や収集活動等に社員と家族延べ 2,211 名が参加しました。



### ● SMBC 環境プログラム C・C・C 富良野自然塾

三井住友銀行は、脚本家の倉本聰さんが北海道の富良野で実施する、閉鎖されたゴルフ場の跡地を元の森に回復させる活動と、五感で自然を体感する環境教育プログラムを支援しています。

### ● 世界銀行グリーンファンドの販売を通じた寄付

三井住友銀行・SMBC 日興証券は、「SMBC・日興 世銀債ファンド<愛称：世界銀行グリーンファンド>」の販売を通じて得られた収益の一部を、日本赤十字社・日本ユニセフ協会に寄付しました。



### ● 「環境フォト・コンテスト」への協賛

三井住友ファイナンス&リースは、環境問題の大切さを伝える行動を喚起することを目的とする写真コンテストに協賛し、「三井住友ファイナンス&リース賞」を贈呈しています。

## 文化・芸術・教育

### ● 営業店でのロビーコンサートの実施

三井住友銀行の本店・大阪本店では、一般の方に無料で鑑賞いただけるロビーコンサートを実施しています。本店では平成 23 年 3・4 月の開催を東日本大震災復興支援チャリティーとし、ご来場のお客さまより募金のご協力をいただきました。

### ● 文化芸術事業の支援

三井住友カードでは、国立劇場・国立演芸場へのどんちゅう寄贈や子ども歌舞伎への公演協賛を通じ、古典芸能振興と人材育成を支援しています。

SMBC フレンド証券では、山種美術館で開催された「速水御舟展」への特別協賛を通じて、文化・芸術活動を支援し

ています。

三井住友銀行・セディナでは、クラシックコンサートへの協賛を通じて、音楽文化の振興を支援しています。

### ●金融経済教育への取り組み

三井住友銀行・SMBC日興証券では、小学生向けの職業体験イベントを開催しています。また、三井住友銀行では、書籍「銀行のひみつ」の発刊、ホームページ上で金融教育ゲームの展開、お仕事体験タウン「キッザニア」への協賛、中学生向けの経済教育プログラム「品川ファイナンスパーク」への協力など、幅広く金融経済教育活動に取り組んでいます。

三井住友カード・三井住友ファイナンス&リース・日本総合研究所・SMBC日興証券でも、大学への講師派遣等を行っています。また、SMBCフレンド証券では平成22年11月より、ホームページ上に投資初心者を対象にした無料学習や実践サイト「悠々投資」を開設しています。

### ●インターンシップの実施

三井住友銀行・日本総合研究所・SMBCフレンド証券ではインターンシップを実施しています。平成22年度は、三井住友銀行では16名が本店各部で本格的な銀行業務を体験しました。日本総合研究所では5名が環境やエネルギー分野における次世代の新しいビジネスを創り上げていく現場で、仕事への理解を深めました。SMBCフレンド証券では26名が参加し、金融商品や証券業務について学びました。

## 東日本大震災への緊急復興支援活動

### ●被災地への義援金

当社グループでは、東日本大震災の被害に対する義援金として、三井住友銀行が3億円、SMBC日興証券が1億円を寄付したほか、グループ合算で総額約6億円の義援金を寄付しました。更に、従業員を対象とした義援金募集や、これとあわせたマッチングギフト等、さまざまな取り組みを進めています。

また、三井住友銀行は、同震災義援金口座を開設しお客さまより広く募金を受け付けるとともに、行内・SMBC日興証券を含むグループ各社社員への呼びかけも行いました。三井住友カード・セディナでは、カード決済による募金を受け付けています。

### ●チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」開催



三井住友銀行では、平成18年度より毎年、世界の恵まれない子どもたちを支援するための、行員演奏によるチャリティーコンサートを開催し、会場では募金受付や社員の手づくり品のチャリティー販売などを行っています。平成23年5月は、東日本大震災被災地支援として、津波で大きな被害を受けた小中学校に楽器などを届けました。また、東京都内に避難されている方々をコンサートへご招待しました。



### ●ボランティア活動の実施

三井住友銀行では4月より「震災復興特別休暇」を創設し、6月より従業員による定期的な被災地支援ボランティアを開始しました。7月上旬までに有志役員約65名が参加し、被災地での泥のかき出しや写真の整理などを行いました。

SMBC日興証券では、4月にボランティア休暇制度を導入したことに加え、7月に平成23年度新入社員約360名が被災地支援ボランティアを行います。



三井住友銀行は、東日本大震災で被災されたお客さまに少しでもお役にたてるよう、仙台支店において、休日に臨時営業を行ったほか、預金通帳、証書、お届けの印鑑等を紛失された場合でも、別途預金者本人であることを確認したうえで、窓口にて支払いの手続きを行っています。また、被災されたお客さまに対して「特別金利住宅ローン」や法人のお客さまへの「特別ファンド」の取り扱いも行っています。